

「ウッドトランスフォームシステムコンペティション」 木で災害に強い日本をつくるアイデアコンペティション

株式会社長谷川萬治商店

副社長 長谷川泰治



The banner features the logo 'WOOD TRANSFORM SYSTEM' at the top. Below it, the title 'ウッドトランスフォームシステムコンペティション' is written in large green characters. A central text block reads: '木でつくった日常品が、災害時には、人の役に立つこんなモノにトランスフォーム!みなさんの斬新なアイデアを募集します!' (Wood-made daily items that can transform into things that help people in disasters! We are recruiting your innovative ideas!). A green bar below this text states the collection period: '募集期間:2018年10月1日(月)~2018年12月28日(金)'. At the bottom, it says '主催: 日本木材青壮年団体連合会' (Organized by: Japan Wood Youth Group Association). The banner is decorated with cartoon characters on the left and right, and a red circle on the left containing the text 'アイデア募集!' (Idea Collection!).

ウッドトランスフォームシステムコンペティション開催

今回、日本木材青壮年団体連合会(以下略称「日本木青連」)の主催で、「ウッドトランスフォームシステムコンペティション」というアイデアコンペティションが開催されることになりました。ウッドトランスフォームシステムとは、日常生活で人々の役に立つものとして利用されながらも、災害発生時にはトランスフォームし、被災者の避難所生活や復旧活動を支援する木造のシステム製品です。と文字で書いてもよくわからないのですが、次ページのイラストをご覧くださいとウッドトランスフォームシステムがどんなものであるかよくわかると思います。例えば、木製ベンチが仮設トイレに、木製フェンスが応急仮設小屋に、木製カウンターが仮設風呂に、木製遊具が二段ベッドに、と普段便利に使っているものが、災害時にトランスフォームして避難所生活の質の向上や復旧活動を支援するものとなる。これがウッドトランスフォームシステムです。

2年前に日本木青連においてウッドトランスフォームプロジェクトが立ち上がり、フェンス、デッキから応急仮設小屋へトランスフォームするプロトタイプができました。その活動は、高い評価を得るとともに、多くの方々に感謝されました。その活動を実施している中で、「もっといろいろな変形のアイデアがあるのではないか」、「もっと避難所生活の質を向上できるものがあるのではないか」、「もっと街を豊かな木質空間で満たすことができるのではないか」と私は考えるようになりました。実際に昨年の「木と暮しのふれあい展」において応急仮設小屋を展示した時にも、ご覧いただいた方からいろいろなアイデアをいただきました。そこで、ウッドトランスフォームシステムの普及に向けた次のステップとしてアイデアコンペティションを開催する企画を思いつきました。その企画案を日本木青連の皆様



にお話ししたところ、多くの皆様からご賛同をいただき、私が担当常任理事として運営事務局を務めコンペティションが開催されることになりました。

2018年10月1日(月)から12月28日(金)まで、アイデアを募集します。どなたでも参加可能なアイデアコンペティションです。建築やデザインの専門家である必要はありません。図面が書けなくても全く問題ありません。皆様のアイデアをラフなスケッチと簡単な文章で所定の応募用紙にご記入いただくだけの簡単なものです。個人でもグループでも参加可能です。ご家族、会社の仲間、サークルの仲間と一緒に是非、アイデアを考えて応募してみてください。最優秀賞と優秀賞の2作品は実物を作り展示していく予定です。詳しい情報は、以下特設サイトをご確認ください。応募用紙のダウンロードとアイデア作品のアップロードもこちらの特設サイトから行っていただきます。フェイスブックページもオープンして、コンペティションの最新情報や審査員の先生方へのインタビュー記事、アイデアのヒントなどが掲載されています。是非、アクセスしてみてください。

<特設サイト> <https://wtsc.mokusei.net/>

<Facebook> <https://www.facebook.com/WTSC2018/>



コンペティションのフェイスブックページにアクセスします



平成29年 木場公園「木と暮らしのふれあい展」での組み立て実演

多くの可能性を秘めるウッドトランスフォームシステム

ウッドトランスフォームシステムは以下のような可能性を秘めるすばらしいシステム製品です。

- ①木材利用の可能性を大きく広げます
- ②特別な備蓄スペース不要で災害発生後すぐ対応が可能です

まず、①の「木材利用の拡大」ですが、循環型資源である木材の利用は、持続可能社会の構築に繋がっていきます。特に日本は国土のおよそ3分の2が森林である森林大国であり、持続可能社会を築いていくための様々な問題解決のために木材の活用が強く求められています。そのためには、木材利用の可能性を多くの分野に広げていく必要があります。ただし、それは簡単なことではなく、木材以外の様々な優れた素材と競いあっていかなければなりません。木材の優位性の一つに加工性に優れていることと変形が容易に行えることがあります。その優位なポイントを利用したものが、変形を前提としたウッドトランスフォームシステムのアイデアです。また、「木は良いけど高価だ」、「メンテナンスに費用がかかる」と言った声に対しても、そこに「変形して災害時にも役に立つ」という機能が付与されると付加価値が高まり、木の家具や備品を採用する機会が増えていくと考えています。銀行や携帯電話ショップの待合室、ビルやマンションのエントランスロビーなどにウッドトランスフォームシステムの機能を備えた木製家具や備品が増えれば街の木質化がどんどん進むのではないかと期待しています。都市や街の中に、木質空間を実現していくには、単に「木が良い」という話だけではなく、創意工夫が必要になってきます。その工夫のひとつがウッドトランスフォームシステムになっていってもらいたいと考えています。

次に②の「特別な備蓄スペース不要で災害発生後すぐ対応が可能」ですが、世の中のほとんどの防災グッズや備蓄品は、そのための特別な保管スペースが必要になります。皆様も会社の倉庫には備蓄品がたくさん保管され、避難所にもたくさんの備蓄品が保管されているはずです。また、災害が発生すると、想定されている物流網が破壊されてしまうケースが多く、物資の輸送が大変困難になります。必要なものが届くまでに幾日も避難所で不自由な生活を強いられる場合も多く大きな問題となってきます。それらの問題を解決するのがウッドトランスフォームシステムです。ウッドトランスフォームシステムは平時も利用されているものが変形するだけなので、特別な備蓄スペースが不要な上に、他所からもっていく輸送の手間もありません。すぐに避難所に設置し利用できることは被災者支援の観点から大きなメリットとなります。皆様もテレビや新聞で、プライバシーもなく床の上で寝かされている避難所の映像